



北栄町議会議長 井上 信一郎 様

(総務常任委員会)

北栄町議会議員 井上 信一郎

平成27年北栄町議会 委員会研修報告

1	日時	平成27年1月21日(水)～22日(木) 1泊2日	
2	調査地	兵庫県赤穂市・兵庫県淡路市・香川県三豊市	
3	調査内容	(内容)	(場所)
		<ul style="list-style-type: none"> ・賑わいのあるまちづくりの取り組みについて ・人口増加対策について ・商業施設進出における行政の取り組みについて ・公共施設の再配置計画の取り組みについて 	<ul style="list-style-type: none"> 赤穂市役所 赤穂市役所 淡路市役所 三豊市役所
4	調査結果 又は概要 (意見・感想)	<p>・赤穂市</p> <p>市の観光施策について平成16年から観光アクションプログラムを作成し、3年ごとに見直しを行っている。プログラムの推進に資する事業を公募し、公開審査の上補助金(上限20万円)を交付し観光客の誘客増を図っている。</p> <p>例 ロケ地巡りマップの作成</p> <p>また、まちの賑わいづくり事業として商店街会員グループにイベント補助をして、やる気に応え会員同士のつながりによる活性化を期待している。本町でも商工会や各団体と連携し、やる気のある人たちへの個々の支援だけでなく、横のつながりができるコーディネートが必要と感じた。</p> <p>赤穂市には新規定住者の会があり、月に一度の定例会や親睦会、ミニコンサートを開催したり、終の棲家を考えている人たちの相談にも応じる活動をしている。移住・定住を進める上で、移住者同士の交友関係も深まり、今後このような会の必要性を感じた。また、新婚さんへの家賃助成制度があり、ぜひ本町でも取り組んでほしいと思った。</p> <p>・淡路市</p> <p>島内にはイオンと、地元スーパーが複数店ずつあり、消費者が市外へ流出しないよう、いち早く地元商業者有志による集合店舗が建設され、隣接してイオンが進出しており、その隣に26年9月プラントがオープンし商業施設の集積がかなり進んでいる。地元経済団体から反対要望が県に出されたが、それ以外は目立った運動もなく、店舗建設の届け出からわずか10ヶ月で開店した。地権者との交渉は当事者間で行っており行政は関与していない。</p> <p>本町への進出計画についても、民間同士の交渉が基本ではあるが、問題解決</p>	

のためには、必要に応じて調整や支援は考えるべきである。

・三豊市

7町合併で新市が誕生したが、合併協議会では新庁舎を建設することになっていたものを、現市長が新庁舎を建設しないことを公約に当選した。平成25年から今後10年間の公共施設再配置計画を策定し、施設の半減を目指すこととなった。基本方針として①新規の建物は建設しない。②複数の機能を一つの施設に統合。③維持管理・補修・解体までのトータルコストの低減④官民連携手法の採用。民間事業者への貸与又は売却。その他合わせて7つの方針の下、施設概要調査票を作成し再配置を進めている。

本町も公共施設再配置の基本方針と計画を定め実施していく必要がある。そのために住民への丁寧な説明は当然であるが、施設ごとのランニングコストなど数値を示して理解を得ていくべきである。

提出締切（平成27年2月9日）